

オプトアウトによる研究実施のお知らせ

研究課題名

(仮題) 大腿骨近位部骨折後の高齢患者の回復期病院入院時 PhA が退院時の ADL に影響するか

研究の概要

本研究は、大腿骨近位部骨折を受傷し、回復期病棟へ入院した 65 歳以上の患者を対象に、入院時に測定されたフェーズアングル (PhA) が退院時の ADL (日常生活動作) にどのような影響を与えるかを明らかにすることを目的としています。

フェーズアングル (PhA) は、InBody によって測定される身体組成データの一つで、栄養状態や筋機能の指標とされるものです。本研究では、PhA の値を性別ごとの基準値（男性：4.76°、女性：4.11°）に基づいて高値群と低値群に分類し、退院時の FIM (Functional Independence Measure) スコアと比較・解析を行います。

研究対象

2023 年 4 月～2025 年 6 月の間に、当院の回復期病棟へ入院した 65 歳以上の大股骨近位部骨折患者のうち、入院時に InBody による身体組成測定を実施された方が対象となります。ペースメーカーなどの埋め込み型医療機器があるなどの理由で測定が行えなかった方は対象外となります。

研究期間

現時点では未定です。

研究機関・共同研究について

本研究は、社会医療法人令和会 熊本リハビリテーション病院との共同研究として実施を予定しており、当院で収集・管理されたデータの一部を、研究目的に限って提供し、双方で解析を行う予定です。

また、研究の進捗や必要性に応じて、医療法人社団巨樹の会 内のグループ病院が共同研究機関として追加される可能性があります。その場合は、倫理委員会への申請・承認を経て適切に対応いたします。

倫理審査

本研究は、医療法人社団巨樹の会 原宿リハビリテーション病院 倫理審査委員会の承認を受けて実施されます。

倫理審査承認番号： 2025-26 号

利益相反

現時点では利益相反はありません。

研究成果の取り扱い

本研究の成果は、国内外の学術誌への投稿や学会発表を通じて公表することを検討していますが、投稿先は現時点では未定です。なお、公表に際して個人が特定される情報は一切含まれません。

個人情報の取り扱い

研究に用いるデータは、氏名や住所などの個人を特定できる情報を除いた形（匿名化データ）で解析を行い、個人情報の保護に最大限配慮いたします。

オプトアウト（研究対象者の拒否権）について

この研究は、通常の診療で得られた情報を用いる観察研究であり、対象となる方お一人おひとりから直接同意をいただく代わりに、研究内容を公開し、研究への参加を望まれない方には申し出ていただく「オプトアウト方式」により実施いたします。

研究へのデータ使用を望まれない場合は、下記の問い合わせ先までご連絡ください。
お申し出があった場合には、対象とせず除外いたします。

お問い合わせ・オプトアウトの申し出先

医療法人社団巨樹の会 原宿リハビリテーション病院（担当部署：栄養科）

TEL：03-3486-8333（代表電話/平日 8:30～17:00）

メール：eiyou@harajuku-riha.com

所在地：〒150-0001 東京都渋谷区神宮前 6-26-1

担当者：引馬 匠美（ひくま まさみ）

更新日：2026年2月9日現在